

# まき歯科新聞

第43号

〈毎月第3火曜日〉



## 貯めたいのはそむくではなく...

先日の大雪にはただただ驚きでたね！『ここは九州？』と目を疑うほどの雪。もちろん子ども達は鼻水だらけながら出ていき、定番の雪合戦や雪だるまはもちろん豪快に雪にたおれて(顔から)人型も作っていました☆翌日、車で市内を走るとあちこちに大きな雪だるまが...とちやえども子どもだけでは作れないサイズ...どう考えてもお父さんの手が入っているらしきデザイン...大変なことでも多かった大雪でしたが、何だか大人も童心に帰ってしまつていました☆

しかしそこから流行りだしたのがインフルエンザ(泣)我が家も次女が頂いてきました。でも彼女の健気な常時マスク着用のおかげで、被害は最小限に！しかし気がゆるんだ私がいついっせい鼻カゼをひいてしまいました。鼻カゼから毎年悩まされるのが「副鼻腔炎」。よく「蓄膿」とも言われ、歯科では主に「上顎洞炎」と称されます。

頭蓋骨の中でも、鼻の周りには鼻腔と通じている空洞がいっぱいあり、上顎洞鼻の両脇、前頭洞(おでこ)、篩骨洞、蝶形骨洞に分けられます。

上顎洞炎は、副鼻腔のうち上顎洞に炎症が起こっている状態を言います。慢性的な症状としては鼻がつまる、鼻水が喉の方に流れやすい、黄色い粘り気のある鼻水が出るなどです。『蓄膿』という名の通り、空洞の中に膿(粘液)が貯留してしまつたのです。

急性の場合は歯の痛み・頬や眼の奥の痛みなどの症状が強くなり、臭いや色の

ある鼻水が出たりします。

私のようなカゼからの上顎洞炎は両側に現れることが多いのですが、時に上の奥歯が原因で上顎洞炎となる『歯性上顎洞炎』というものがあります。この場合原因の歯がある側だけの症状が多く、上顎洞炎全体の30%を占めるといわれています。

なぜ歯から上顎洞といった頭蓋骨の骨にまで炎症が生じるのかというと、上顎洞は上の奥歯のすぐ上であり、人によっては奥歯の根が元々上顎洞に突出している事があります。そういった奥歯におし歯や歯周病があり、根もとの炎症が起きると、その細菌が上顎洞にまで侵入してしまい、上顎洞炎になってしまつたのです。

急性の場合は洗浄や抗生剤の投与で消炎が第一。次に根本的な原因の治療ですが、歯の根の治療、歯周病の治療で改善できないようであれば残念ながら拔牙となります。歯科では、耐えがたい歯や顔面の痛み、振動による歯の痛みなどがきっかけで来院されるレントゲンを撮つたところ発見されることごとくがよくあります。また歯原性でない場合には痛みは強くても歯には全く何の問題もみつからないこともあります。当てはまる場合がある場合は、ぜひお早めにかかりつけの歯科に相談を。

お口の不調はやはり全身と大きく関係します。うつけ貯めると『膿』ではなく、内容物(おのき)も、晴れの口も、雪の日も健口健康こそして笑顔で楽しみたいものです☆

診療時間 月～金曜 10:00～12:30/14:00～20:00  
土・祝日 10:00～14:00

診療科目 歯科・小児歯科・口腔外科・矯正歯科  
※訪問診療も行っております。

健口から健康のお手伝い

# まき歯科

院長 副島真紀

島原市上新丁 1-4158-1 あんしんハウス島原 1F TEL.64-5077

